



潟上市章

かたがみ
Katagami

第19号

市議会だより



寅のこけし

湖竜旗争奪少年剣道大会

12月定例会

H22(2010)01.01

平成22年(2010年)

1月1日発行

年頭あいさつ	2	委員会報告	10~11
12月定例会	3	広域組合議会	12
議会改革・請願・陳情	4~5	表彰・県市議会研修会	13
一般質問	6~9	私もひとこと・議長交際費	14

2009年

12月定例会

11月30日
~12月11日

全案可決

一般会計補正予算

補正額
1,513万5千円
総額
134億2,784万3千円

●歳出の主なもの

- ・クリーンセンター修繕料
601万7千円
- ・住宅補修工事（市営住宅）
386万6千円

特別会計補正予算

単位：千円

国民健康保険事業特別会計	補正 △ 14,607	総額 3,732,426
後期高齢者医療特別会計	補正 3,170	総額 261,145
介護保険事業特別会計	補正 31,425	総額 2,619,271
有線放送事業特別会計	補正 164	総額 37,441
農業集落排水事業特別会計	補正 △ 363	総額 213,205
下水道事業特別会計（3号）	補正 3,979	総額 2,189,390

企業会計補正予算

単位：千円

水道事業会計 ・収益的支出	補正 1,200	総額 529,760
-------------------------	----------	------------

◆提出された 条例改正等の議案

- ・潟上市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（案）
- ・潟上市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例（案）
- ・潟上市有線放送電話の設置及び管理運営に関する条例等の一部を改正する条例（案）
- ・潟上市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例（案）
- ・損害賠償の額を定めること

人事案件

人権擁護委員

候補者推薦に同意

門間 裕一氏

（新任・飯田川飯塚）

村山 稔氏

（再任・天王道合）

発議第6号

鴻上市行政に係る基本的な計画の議決に関する条例(案) (賛成多数・修正案可決)

(提案理由)

地方自治法第96条第2項に基づき、議会の議決する範囲を拡大し、市政の方向性を決定付けるような基本的な計画について、議会が政策形成に策定の段階から参加することにより市政の方向性を明らかにし、計画の実効性を高めるとともに、政策策定のプロセスや結果について情報を市民に公開し、透明性の高い市政

政を推進するため条例を制定するもの。議決対象とするのは、(1)地方自治法第2条第4項の規定により定める基本構想に基づく基本計画の策定、変更(軽微なものを除く。)に関する事、(2)環境基本計画、(3)地域福祉計画、(4)地域防災計画の4項目。本条例案は9月定例会で発議されましたが、提案理由中の「政策形成に策定の段

階から参加する」及び条文中の関係部分が「市当局の執行権の侵害にあたるのではないか」という意見が出され、審査は総務常任委員会へ付託されていきました。

総務委員会では、提出議員から再度説明を受け、さらに条例案を精査した結果、「条文中に誤解を招く点がある」との理由で次のとおり修正案が提出されました。

(総務常任委員会修正案)
第1条中「計画の策定段階から議会が政策の実現に向けて積極的な役割を果たし、」を削る。第3条中「市長等執行機関は」を「市長」に改め、

「あらかじめ」を削る。

審査報告と修正案について質疑の後、伊藤博議員から「条例策定のプロセスならびに内容が不十分で不明確、(2)、(3)、(4)の計画の策定根拠となる法律との法的整合性の精査が欠落している。条例の運用、本議会での審査形態が全く想定されていない。議会と行政当局の関係はどうあるべきか」という原案に立つべき」との反対討論が行われ、採決の結果、総務常任委員会提出の修正案が賛成多数で可決されました。

発議第7号

鴻上市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例(案) (全会一致・原案可決)

(提案理由)

本市の一般職員が期末・勤勉手当の支給割合を減じており、常勤の特別職も同様の措置を講じていることから、本

議会議員についても期末手当の額を0・15か月分引き下げるため、条例の関係部分を改正するもの。

発議第8号

鴻上市議会委員会条例の一部を改正する条例(案) (全会一致・原案可決)

(提案理由)

議員定数が20名となることから、常任委員会の構成と定数および議会運営委員会委員の定数を次のとおりとするもの。

総務文教常任委員会(定数7名)、社会厚生常任委員会(定数6名)、産業建設常任委員会(定数7名)、議会運営委員会(定数6名)。

請願・陳情

請願 [採択]

● E P A ・ F T A 推進路線の見直しを求め、日米 F T A の推進に反対する請願

● 米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセスの輸入中止を求める請願

陳情 [採択]

● 改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書

● 雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情

● 社会保障と教育予算の拡充を求める陳情

● 2010年度の年金確保に関する陳情

● 最低保障年金制度創設などを求める陳情

● 後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情

陳情 [継続審査]

● 暮らしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情

議会改革特別委員会 審査報告(概要)

※審査報告書は市議会ホームページで公開しています。

平成21年3月定例会で設置された議会改革特別委員会で改革の11項目についての審査が終了し、12月定例会において委員会の審査報告がされました。

開催期間…平成21年3月5日～平成21年12月11日(14回)

委員…千田正英、藤原幸雄、佐藤恵佐雄、小林 悟、

佐藤義久、佐藤 昇、中川光博、西村 武、

菅原久和、大谷貞廣

オブザーバー…藤原幸作議長、堀井克見副議長

1 議員定数について

定数を2名減じて20名とする。

(9月定例会に提案し可決)

2 議員報酬について

議員活動をしていくうえで生活

保障・身分保障が必要となる。

議員は市民の負託にこたえるよう、研鑽を重ね、それに対して市民から評価をもらえるようにすべきものとする。

3 費用弁償について

月額1,000円とする。(9

月定例会に提案し可決)

4 政務調査費について

交付は必要ではあるが、現在の

5 議会報告会について

市民の声を行政に反映させる、

議会と市民との意見交換をする場、開かれた議会をめざしてという意味で、報告会を実施すべきものとする。

6 会派について

異動届については本人からの提出を認める。

7 議会運営について

地方自治法、条例、規則、規程、議員必携などをもとに対応する。

(1) 委員長報告に対する質疑のあり方

質疑は「審査の経緯と結果について行うもの」である。

(2) 質疑の回数

本会議では3回まで、委員会においては基本的には自由である。

(3) 常任委員会開催時の付託案件以外の所管する事務

審査中の質疑は基本的に付託案件に関連する質疑だけが認められる。

(4) 議会事務局のあり方

議会の政策・立案能力の向上のための必要な図書を出来るだけ準備する。

(5) 傍聴者に対する資料の配布

傍聴者に対しては今までどおり、一般質問の項目を一覧としたものを配布する。

(6) インターネット、イントラネットを活用した議会中継

機器設置などの経費、機器操作の職員の配置などの課題があることから、今後は議会中

継を実施する方向は確認し、

なおその調査を続ける。

8 一般質問について

当面現行どおりとし、すでに一問一答方式を実施している他自治体の会議規則などの調査を行い、実施の成果がどのようなものかの動向を見極めながら、反問権についても調査していくべきものとする。

9 議員研修について

従来どおりの議員研修は毎年実施すべきものとする。

10 広報公聴について

市民が議会広報に求めているものをいち早くとらえて対応し、広報公聴という側面から議員活動の掲載といったことについても検討を加えていかなければならない。

11 審議会について

法で定められている審議会以外の議会の参画については、議員がある程度一致した理解のもとで対応しなければならぬ面もあることから、当面現行どおりとし、引き続き議員全体で協議を深めることが必要である。

住宅リフォーム 助成制度を

藤原 典男 議員



問 この制度は地域の住民が住宅のリフォームを行った場合、経費の一部を自治体が助成することにより住宅の改善、修理を容易にするとともに、中小零細業者の受注機会拡大、雇用の創出を図るもので、地域活性化となり経済効果は大きく、県内でも実施している。本市でも実施すべきでは。

答 現在、本市では市民の安全・安心な生活環境を守るために住宅改善事業として耐震診断補助事業、介護保険事業認定者への住宅改善費の支給を実施しています。

国の緊急雇用創出事業臨時交付金、経済対策臨時交付金を用いて雇用・経済対策事業を展開しており類似制度の有無、事業等の波及効果および財源をどのように求めるか調査検討していきます。

乳幼児医療費助成制度の拡充は

問 乳幼児医療費助成制度は子育て世代への経済的援助と育児への心理的支援として大きな役割を果たしている。

安心して子供を生み育てる社会への一歩として小学校入学前の子供の医療費を完全無料化にするよう取り組めないか。

答 本市は県の所得基準により非該当となった場合、



ゼロ歳児全員及び2歳までの非課税世帯の入院・外来は全額助成。1歳から2歳までの入院・外来は半額助成、2歳から未就学児童の非課税世帯は全額助成及び課税世帯は半額助成として負担の上限は1,000円までとしています。

おいしい学校給食の実施と給食費への助成は

問 子供たちが楽しく、おいしい給食を食べられるようにどう取り組んでいるか。また一般会計から助成し給食費の値上げをしなかった自治体もあるが、本市での考えは。

答 児童生徒のリクエストを基にしたり、好きなメニューを選んで食べられるセレクト給食、家庭科の授業での献立をヒントにしたメニューを提供している学校もあります。本市では児童会や生徒会の活動として校内放送を利用したり、給食に関わる感謝のイベントもしております。地元の新鮮

この事業の経費は2億2,596万8,000円で、そのうち市の一般財源の支出額は1億1,357万7,000円です。無料化にはさらに2,800万円かかり財源の確保が課題となりますので十分考えていきたいと思えます。

な食材や栄養士の配置にも取り組んでおります。値上げについては学校給食法により食材費は保護者の負担という法律があり、保護者負担ができない場合には就学援助制度もあります。



学校給食の地産地消メニュー



平成22年度 予算編成方針は

佐々木嘉一 議員

問 来年度は発展計画の折り返し年度です。社会経済状況が変化する中、次期計画は潟上市の将来展望が求められます。財政が更に厳しさを増す事が予測される状況下、平成22年度予算編成方針は。

答 総合発展計画を基本として地域再生事業や保育園の統合、各種インフラ整備に努めています。職員に対しては予算編成方針を11月22日付で発表しています。国の方針も不透明ですが、安全で安心して暮せるまちづくりの施策を推進します。



天王庁舎

新庁舎の建設計画は

問 新庁舎建設は合併協定の合意事項として建設計画をすすめているが、建設ありきではなく、建設計画の検討には都市計画等多様な課題を先行させ方向性を決めるべきである。広く市民の意見も確認すべきではないか。

答 合併協定に基づき粛々と作業を進めています。市役所は地域に密着した最大のサービス産業、市民の英知を結集してまちづくりを進めてゆく拠点です。庁舎の位置決定は重要事項として認識しています。

豊川小学校について

問 先般の当局と豊川小学校地区住民との話し合いは評価したい。

答 結論として住民は改築を前提とするも、存続を望んでいた。通学区を自由にするとか、地域の環境、伝統を生かした教育の創造をし、潟上教育に新たな視点の検討ができないか。地域の活性化対策と合わせ、合併協定の原点到ち返すの対応は。



豊川小学校

答 先の説明会で豊川地区の存続を望む声は承知していますが、児童数の減少と校舎の老朽化の現状もあります。学校問題は教育委員会の対応とあわせ、地域振興という観点から庁内に検討委員会を設置し協議、検討します。

介護問題を問う

佐藤恵佐雄 議員



問 現在の施設、在宅サービスの整備充実と介護従事者不足の実態は。

答 市内の指定介護サービス事業所は52カ所で、うち在宅のサービス事業所が46、施設サービスが6事業所となっています。

介護従事者不足の実態については、市内の事業所においては充足されていると伺っています。

問 次に本市の老老介護、シングル介護の状況は。

答 介護者の7割ほどの方が老老介護、シングル介護に当たっています。一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が年々増加している現状です。

問 施設、在宅に限らず24時間365日を通してニーズに応じた介護サービスが受けられる地域包括ケアシステムの構築は。

答 介護が必要になっても地域全体で支え合い、助け合うという、地域ケア体制の整備が重要となります。地域包括支援センターが調整役となって、関係機関や地域との連携を深めながらネットワークの拡充を推進し365日を通してニーズに応じたサービスを提供する体制の構築に取り組んでいきます。



市内の介護施設

子育て応援特別手当を

問 子供の教育のために使おうと予定していたのにショック、勝手に中止するのはひどい等の声があります。本市に予定されていた対象者と支給総額はいくらか。厳しい経済状況であり、子育てに困窮している方々のために本市としての独自支給の考えは。

答 子育て応援特別手当については厚生労働省から10月15日に通知があり執行が停止となりました。市民への周知としましては、市広報11月号で支給中止の記事を掲載しています。

また、対象者につきましては872人で3,139万2,000円を予定していましたが、市としては今後、国の動向を見ながら対応していきたいと考えています。

学校教育に木製机を

問 本市、小中学校の木製机使用の現状はどうか。また、教育の資質向上と環境教育が求められている今日、ぬくもり、リラックスイラストにより生徒が少しでもいやされ、教育が受けられるよう、木製机を使用されてはどうか。

答 本市の場合は純木製の机、椅子は使用しておりません。参考までに、県内の小中学校においても昨年、純木製机、椅子を導入した小中学校は63校ありました。子どもたちの教育環境に配慮し将来に向けての検討を進めたいと考えています。



現在使われている机とイス



クリーンセンター 機能検査への対応は

伊藤 博 議員

問 21年度当初に予算を計上し実施した、施設の精密機能検査の内容はどのような内容で、どう対応するのか。

答 既存施設の構造基準、維持管理状況については法令に定める項目全てに適合しており支障はありませんが、老朽化、処理能力の低下に対処するためには、焼却炉本体を含めた施設全体の大幅な改修を行わなければならない。処理能力の回復は難しいため、施設整備は進めなければならぬと考えています。22年度にゴミ処理基本計画の策定をはじめ、改修内容を検討し、施設整備に当たりたいと考えています。



クリーンセンター



昭和衛生センター

し尿処理場への対応は

問 昭和、飯田川地区のし尿処理を男鹿地区衛生センターで行う見込みは。また、昭和衛生センターの改修見通しは。

答 船越振興会と船越漁協と交渉していますが、合意を得ていません。交渉は難航しています。今後とも相当の時間を要すると思われるので、昭和衛生センターを修繕しながら進めていきたいと考えています。

22年度の事業と予算編成は

問 22年度予算編成の骨格となる方針は。また、重点施策といえる事業と施策は。

答 基本方針は、市総合発展計画・前期基本計画に盛り込まれた諸施策や安全で安心して暮らせるまちづく

学校給食と食育は

問 本市学校給食における地場産品の供給実態は。また、安定供給に向けての協議や体制整備の課題等は。学校ホームページに毎日の給食情報を掲載してはどうか。

答 20年度の地場産品使用率は、主要野菜15種類で13・6%、野菜全体で15・2%、果物33・6%、肉類62・1%、大豆製品98%となつています。量の確保や規格の標準化等が検討課題となりますが、現状分析を進め、使用率の向上を図ってまいります。体制整備のために農協、生産者、学校

りのための施策を推進することです。重点施策は、追分保育園（仮称）整備事業、鞍掛沼公園に直売・加工施設を整備する農山漁村活性化プロジェクト支援事業、追分、牛坂地区の上水道の分水供給解消に伴う事業。

栄養士等給食担当者、食育担当者、農政担当、地産地消担当、教育委員会等による話し合いの場をつくり、情報交換や協議検討を重ねております。なお、今後鞍掛沼公園内への直売・加工施設の整備により地元産品を利用した加工品の供給についても期待しているところです。学校給食情報については、各学校で「給食だより」によって行っています。食育を進めていく上で貴重な情報源であり、さらに活用していただくために、各学校のホームページへの掲載を検討しているところです。

委員会のうごき
Q&A

総務

委員長	大谷 貞廣
副委員長	戸田 俊樹
委員	佐藤恵 佐雄
委員	佐藤 幸孝
委員	鈴木 斌次郎
委員	藤原 幸作

市はどう答えたか

●平成21年度一般会計補正予算

問 企業倒産の件数を把握しているか。

答 倒産か廃業によるものなのかわかりませんが、昨年同時期との比較では11社減っています。

問 法人税の減額はいくらになっているか。

答 6月と9月で7,000万円位還付ありましたので法人税割は4,000万円以上落ち込んでいます。

問 市職員退職者の人数と補正の要因は。

答 本年度の退職者の人数は、定年退職が18人、勸奨によるものが3人で、人事院勧告等様々な要素が確定するこの時期に特別負担金を補正するものです。

問 来年度の市職員の採用は何人か。

答 9人の予定です。

問 自治会活動推進費補助金の減額理由は。

答 当初は、世帯割の世帯数の増加分を見込んで計上していましたが、実績との差額によるものです。

問 総合発展計画後期基本計画策定のためのアンケートの狙いは何か。

答 今年度中に市民のニーズを把握して、来年度作業に入ることになっています。

対象は18才以上の市民2千人で内容は前期計画をふまえた市民の満足度の把握やハード、ソフト両面にわたっての事業展望などをとりまとめしていくこととなります。

委員会のうごき
Q&A

社会厚生

委員長	千田 正英
副委員長	伊藤 栄悦
委員	佐々木 嘉一
委員	澤井昭二郎
委員	赤平末次郎
委員	伊藤 博

市はどう答えたか

●鴻上市有線放送電話の設置及び管理運営に関する条例等の一部を改正する条例

問 有線放送電話を指定管理制度に移行させるとの事であるが、現状及びメリットは。また利用者の声は。

答 平成16年1,202戸をピークに加入者は減少傾向にあり、20年度は1,178戸となつています。メリットは人件費など経費節減を図る事により財政負担の軽減を図ることができます。

住民の声の反映としては、地域代表、議員、学識経験者からなる有線放送運営委員会の意見を伺っています。

問 有線放送電話の今後の方向性は。

答 飯田川地域の高齢化が進み、携帯電話やパソコンを持たない家庭が多い事、電話機能より告知機能が多い事などから生活の重要な役割を担っており現在廃止する事は出来ないと考えています。しか

し、老朽化の進展、修繕費の増加も考えられることから現段階では他団体を立ち上げ運営する事が最善であると考えています。

問 指定管理者の選定は。

答 その特殊性から単独指名と考えています。

●平成21年度鴻上市一般会計補正予算

問 クリーンセンター費で修繕費が多くなっているが、修繕規模の考え方は。

答 来年度については、ごみ処理基本計画等で具体的な整備計画を立てる事になります。

問 合併協議会の事業計画では、特例費を活用して新設する計画であったが、どのように考えているか。

答 現段階では大規模改修の方向で考えています。

●平成21年度一般会計補正予算

問 道路新設改良費の負担金補助及び交付金6,500万円の減額は。

答 J Rとの協議において、大清水跨線橋の橋台部分の工事費が2億7千万円と高額であり、3力年の工事期間を要請したが、構造上、工事を分割できる期間は2力年とのJ R側の提示がありました。そのため今年度の改良工事負担金の予算執行を断念して、22年度と23年度で施工し、上部の橋桁の工事は24年度以降に行い、総事業費は約4億5千万円となります。

問 道路改良工事6,850万円は。

答 J Rとの改良工負担金を今年度は取り止め、道路改良工事に組

替するものです。工事箇所は、追分下出戸線・広域秋田五城目線の舗装補修工事です。

●平成21年度下水道特別会計補正予算

問 一般管理費の消費税を増額する理由は。

答 納付額が500万円以上の場合は、予納分が12月・3月・6月の3回と9月末に確定申告して精算納付します。当初予算では、4回分を措置したが、繰上償還分の借換起債が控除対象にならないことや起債償還額の減少、使用料の増などにより12月・3月の2回分641万5千円を補正計上するものです。

●平成21年度一般会計補正予算

問 学校給食費の修繕料に関連して、安全安心な給食体制の確立という面からも当初予算で修繕計画に沿って予算確保が必要ではないか。

答 給食備品の故障に対応するものですが、そのようにしていきま

問 給食体制の整備については地産地消・食育とも関連するので、体制の抜本的な機構改革をし、食育課や給食課を設置するなどしていかないと実現できないのではいか。

答 地域の活性化、農業の活性化、野菜の流通経路の中でどのような体制がいいのか、今後検討していきます。

問 天王柔道場畳更新工事は198万1千円の減だが、落札率はどれくらいか。

答 51%の落札率です。

問 保育園修繕費の消防の不良箇所は。

答 昭和中央保育園、昭和西保育園、若竹幼児教育センターの火災報知器・誘導灯の修繕です。

問 次世代育成支援行動計画の今後の取り組みは。

答 21年度は①児童数の将来推計②アンケート分析結果による保育事業等の事業量の算定③素案策定④計画書策定です。

22年度はこれらをつまみ地域協議会で検討していきます。

委員会のうごき

産業建設

- 委員長 西村 武
- 副委員長 藤原 典男
- 委員 小林 悟
- 委員 菅原 久和
- 委員 堀井 克見

市はどう答えたか

委員会のうごき

文教

- 委員長 佐藤 義久
- 副委員長 中川 光博
- 委員 児玉 春雄
- 委員 藤原 幸雄
- 委員 佐藤 昇

市はどう答えたか

広域組合議会

男鹿地区消防一部事務組合

12月21日、定例会を開催し、次の議案を全会一致で認定並びに可決しました。

○平成20年度一般会計決算並びに特別会計決算

一般会計の歳入決算額14億584万7千円で主に2市1村の負担金となつています。

男鹿市7億4,374万9千円、潟上市4億5,724万3千円、大潟村1億2,941万1千円、歳出決算額13億9,619万3千円で実質収支額は96万4千円となりました。

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○平成21年度一般会計補正予算(第2号)1,068万1千円を減額し、総額14億1,594万円としました。



湖東地区行政一部事務組合

11月24日、定例会を開催し、次の議案を全会一致で原案どおり可決しました。

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○平成21年度一般会計補正予算
歳入は繰越金1,660万9千円を追加、分担金及び負担金3,356万7千円を減額。
歳出は、人件費等1,898万3千円の減額、職員採用に伴う被服の購入費・備品購入費・新型インフルエンザワクチン接種委託料等202万5千円を追加し、歳入歳出1,695万8千円を減額し、予算総額5億3,218万9千円となります。

○監査委員の選任。
任期満了による選任。



男鹿地区衛生処理一部事務組合

12月22日、定例会を開催し、次の議案を全会一致で認定並びに可決しました。

○平成20年度決算を認定

歳入2億9,591万9,478円。歳出2億8,696万9,247円で差引き、895万231円です。

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○平成21年度一般会計補正予算
歳入は、前年度繰越金を計上したほか、財政調整基金利子及び預金利子を増額。
歳出は、議員行政視察研修旅費、人件費、総務費及び施設管理費の委託料の契約差金、燃料費、光熱水費等を減額し、総務費の財政調整基金への積立金等を増額し、歳入歳出896万円を追加し、補正後2億8,675万2千円とするものです。



平成21年 秋田県地方自治功労

秋田県地方自治功労は、県議会議員、市町村長、市町村議会議員、副市町村長等として、永年にわたり地方自治の進展に寄与された方々を表彰するもので、平成21年11月2日に県正庁で伝達式が行われ、本市議会からは次の2名の方が受賞されました。

堀井 克見氏 (59歳) (天王字持谷地)



昭和54年に天王町議会議員に当選され、総務常任委員長(2期)、文教社会常任委員長、産業建設常任委員長、議会運営委員長などの要職を、平成17年からは潟上市議会議員として、副議長、産業建設常任委員、総務常任委員などをつとめられ、町政、市政の発展に多大なるご功績を残されています。

人に与え、与えられるのが人生。これまで支えていただいた皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。議員を志した「滅私奉公」の初心を忘れず、市民の幸せと地域の繁栄を願い、今後も生涯を通してふるさと潟上のため「無私無偏」、精進を重ねて参ります。

佐藤 幸孝氏 (71歳) (天王字塩口)



昭和58年に天王町議会議員に当選され、産業経済常任委員長、副議長、議長などの要職を、平成17年からは潟上市議会議員として、社会厚生常任委員、総務常任委員などをつとめられ、町政、市政の発展に多大なるご功績を残されています。

この度の秋田県地方自治功労賞受賞は、ひとえに地域の方々のご支援、ご協力によるものと深く感謝しております。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後も、地域発展のために誠心誠意、力を尽くして参りたいと考えております。

秋田県市議会議員研修会

平成21年秋田県市議会議員研修会(秋田県市議会議長会主催)が11月20日に秋田テルサを会場に潟上市議会議員をはじめ県内13市の市議会議員と事務局職員350名ほどの出席のもとに開催されました。

当日は北川正恭氏(早稲田大学大学院教授、新しい日本をつくる国民会議代表、元三重県知事)より「地方分権～生活者起点の地方議会革命～」と題しての講演が行われました。その中で「今、日本に必要なことは柔軟な発想と断固たる決意、行動。すなわち、気づき、行動、共鳴、誘発、爆発の良循環が重要であり、改革は自分に気づくことから始まる。」という話がされました。



講師の北川正恭氏

私

天王字一向
高橋 聖子さん

社会現象となった「年越派遣村」など経済状況の悪化が日々の生活を圧迫する中、昨年の夏の選挙で、国民は、「政権交代」を選択しました。これは、長期政権を担ってきた自民党に変わり、少なくとも、今よりなんとかしてほしいという国民の切なる願望の現われであったはずで、しかし、年が明けても経済はデフレスパイラルという先の見えないうずまきにまきこまれていく状況です。生活は決して好転していかないようです。新政権への批判も多々ありますが、私は先の「事業仕分け」は、今まで国民の知らないところで予算が付けられていた事業を国民に知らしめたという点では意味があったと思っています。今回は、「高校生を持つ親の会」の活動の一つとして、メンバー7人で議会を傍聴いたしました。私たちは、旧天王町時、PTAで

知り合った有志で、別々の高校に行っても、時々顔を合わせ、情報交換しながら親睦を深めるために様々な活動をしようということ、講演会を開いたり、裁判所や議会の傍聴等の活動を行っております。

11日の議会では、各委員長から委員会報告があり、一般会計補正予算案等12件が可決されました。生活保護費の増額理由に、かなりの金額が必要なんだなあ等とぼんやり聞いていた私でした。ただ議員からは、鋭い質問もあり、「いい質問!」と思わず手をたたきたくらいでした。(傍聴人は拍手等してはいけません)

「子ども手当」の恩恵もなく、実質増税になるであろう我家。決して裕福とはいえない私の家の税金が、皆さんの納める血税がどのように使われるのか、このような社会状況の今こそ、機会を作って、議会を傍聴するべきだと痛感しました。

議長交際費

議長交際費は、市政の円滑な執行を図るため、議長等が議会を代表して、外部との交際上必要とされる経費です。

議会では、議長交際費支出状況の概要について、年4回発行する「議会だより」で市民の皆様にお知らせしていきます。

●平成21年10・11・12月分 (単位：円)

項目	内 訳	件数	金額
お祝い等	10/4 第4回潟上市ソフトテニス大会	32件	184,692
	10/7 第5回潟上市老人クラブ大会		
	10/25 中央コミュニティ創立30周年記念祝賀会		
	11/6 潟上市連合婦人会「消費者問題研修会」		
	11/14 第15回石川翁顕彰短歌大会		
	11/15 第5回潟上市9人制バレーボール大会		
	12/5 第29回湖竜旗争奪少年剣道大会		
	12/16 潟上市消防幹部交流会		
	12/20 天王地区自治会役員研修会 ほか		
	合計		

10月	15件	92,692円	合計 32件 184,692円
11月	8件	45,000円	
12月	9件	47,000円	

編集後記



ご愛読、ご協力に感謝致します。27年間の議員生活をもって今期限りで勇退することになりました。市民の皆様大変ありがとうございました。(委員 佐藤恵佐雄)

市民皆様の興味・関心ある記事を見やすく分かりやすい編集に努めてきたつもりですが……。よりよい紙面づくりのためにご意見・要望等をお聞かせ下さい。(委員 伊藤栄悦)

見やすく、分かりやすい紙面を目指して議会の情報発信をしてきました。ご愛読に感謝すると共に、今後もご意見ご要望をお寄せ下さい。(委員 菅原久和)

国民が政権の交代に同意した。市民が知りたい議会活動、情勢を率直に提供す

る議会広報であります。ご愛読を望むものです。(委員 大谷貞廣)

トピックスと潟上探訪を担当しました。いかがだったでしょうか。今年も皆様にとりまして住き一年でありますようお祈りいたします。(副委員長 中川光博)

議会活動を広く分かりやすく伝えるため、新しい企画を取り入れ編集しました。今後は活きのよい情報提供の大切さを強く感じていきます。(委員長 小林 悟)